

知多半島総合医療センター医事業務委託プロポーザル評価基準					
審査項目		審査の視点	配分 点数	評価の基準	評価 点数
技 術 的 評 価	1 業務体制		75		75
	① 医事業務に対する基本的スタンス ○事業所の理念について ○当センター規模の病院における医事業務に対する考え方 院内での医事業務の位置づけや重要度をどのように考えるか、医事業務に対する基本的認識について ○医事業務全般を受託することに対する考え方及び基本姿勢について ○当センターの医事業務を受託するに当たっての方針について	●患者に対し病院全体の顔となる業務を担うことについて、どのような意識で行うか。職員に対してどのような意識付けを行うか。 ●当センター規模の病院運営において、医事業務が担っている役割をどのように理解しているか。 ●病院運営における医事業務の役割を理解したうえで、それを「受託」することに関し、どのような姿勢で業務に取り組むか。	10	医事業務が担う役割を十分に理解し、当院業務委託に対する明確な考え方が十分示されている。	10
				医事業務が担う役割を理解し、当院業務委託に対する明確な考え方が示されている。	8
				医事業務が担う役割をある程度理解し、当院業務委託に対する考え方が示されている。	6
				医事業務が担う役割をあまり理解できておらず、当院業務委託に対する考え方があまり示されていない。	4
				医事業務が担う役割をほとんど理解できておらず、当院業務委託に対する考え方がほとんど示されていない。	2
	② 患者サービス向上のための体制等 ○患者待ち時間短縮のための方策 各受付場所での臨機応変な受付体制や、外来診療費の会計書作成における患者の待ち時間短縮のための方策について ○患者からのクレームに対する対応体制、対処方法について	●患者の待ち時間を短縮するためにどのような方策を行うか、実効性は見込めるか。 ●患者からのクレームに対する現場での対応方法・事業所内体制、クレームを再発させないための対策は十分考えられているか。	15	具体的かつ効果的な待ち時間短縮の方策・クレームへの対応体制・対処方法が十分考えられている。	15
				具体的な待ち時間短縮の方策・クレームへの対応体制・対処方法が考えられている。	12
				待ち時間短縮の方策・クレームへの対応体制・対処方法がある程度考えられている。	9
				待ち時間短縮の方策・クレームへの対応体制・対処方法があまり考えられていない。	6
				待ち時間短縮の方策・クレームへの対応体制・対処方法がほとんど考えられていない。	3
	③ 効率的かつ適正な診療報酬請求 ○効率的かつ適正な診療報酬請求を行うための方策 人員配置、勤務体制、レセプト点検システムの利用等について ○診療報酬確保のための方策 請求漏れ対策、査定率の低減、返戻件数の削減のための方策について	●効率的かつ適正に診療報酬請求を行うための人員配置、勤務体制等チェック体制、レセプト点検のためのコンピュータシステムの活用等について。 ●請求漏れ対策の他、査定率の低減や保険資格相違による返戻件数削減のためにどのような方策を行うか。	15	診療報酬請求を適性に行うための具体的かつ効果的な方策が提案されている。	15
				診療報酬請求を適性に行うための具体的な方策が提案されている。	12
				診療報酬請求を適性に行うための方策がある程度提案されている。	9
				診療報酬請求を適性に行うための方策があまり提案されていない。	6
				診療報酬請求を適性に行うための方策がほとんど提案されていない。	3
	④ 事業所内の業務体制及び職員の教育体制 ○指揮命令系統、責任と権限の所在について ○非常時（災害時）等の体制について ○現場で発生する課題等に対する解決のための方策等について ○医事業務や医療に関する知識・スキル、接遇やモラルなど職員の能力の向上を図るための教育体制について ○職員の雇用関係（ワークライフバランス等）について	●事業所内の指揮命令系統、責任と権限の所在が明確になっているか。 ●非常時（災害時）等に対応できる体制が整っているか。非常時（災害時）等に関する覚書が取り交わせるか。 ●現場で発生する課題についての、現場での対応方法（病院職員との協力体制を含む）や、管理部門と情報共有を図り、迅速に問題解決にあたる体制が整っているか。 ●職員の能力向上を図るための具体的な方策や、教育体制、能力チェックの体制などが整っているか。 ●管理部門と、現場の正規職員・非正規職員が常に緊密に連携し、現場の意見を吸い上げ、課題を共有し、互いに問題意識を持って業務に当たる体制がとられているか。	10	現場で発生する課題や非常時（災害等）に対する業務体制、職員の能力向上のための教育体制等が具体的に示されている。	10
				現場で発生する課題や非常時（災害等）に対する業務体制、職員の能力向上のための教育体制等が具体的に示されている。	8
				現場で発生する課題や非常時（災害等）に対する業務体制、職員の能力向上のための教育体制等がある程度示されている。	6
				現場で発生する課題や非常時（災害等）に対する業務体制、職員の能力向上のための教育体制等があまり示されていない。	4
				現場で発生する課題や非常時（災害等）に対する業務体制、職員の能力向上のための教育体制等がほとんど示されていない。	2
⑤ 業務改善のための体制 ○セルフモニタリング・セルフチェックとフィードバック体制等について 自己チェック等による不備があった場合の対応、及び社内監査等についての病院側への情報開示について ○現場の職員が業務を行う中で考える業務改善策やアイデア、患者と直接接することで得られる「患者の生の声」などを、病院の業務改善や経営改善に活かすための体制について ○電子カルテ等のシステムを最大限活用した、業務全般を効率化するための提案	●セルフモニタリング・セルフチェックとフィードバック体制が整っているか。また、不備があった場合等にどういった対応をするか。 ●事業所内で行った監査等について、病院側への情報開示ができるか。 ●受託した業務について自ら主体的にチェックや改善を行い、さらに、病院の経営・事業運営の改善につながるような意見・アイデアを積極的に病院側に提案するような環境・体制（事業所内風土・教育体制・管理監督体制等）が整備されているか。	10	現場での業務履行を通じたチェック体制や改善への体制が具体的に示されている。	10	
			現場での業務履行を通じたチェック体制や改善への体制が具体的に示されている。	8	
			現場での業務履行を通じたチェック体制や改善への体制がある程度示されている。	6	
			現場での業務履行を通じたチェック体制や改善への体制があまり示されていない。	4	
			現場での業務履行を通じたチェック体制や改善への体制がほとんど示されていない。	2	
⑥ その他事業者における特徴的な事項 ○業務遂行に当たり、事業者においてアピールできる事項について。 他院で行っている、又は行ったことのある実際の事例があれば、この項目に含めること。	●病院の経営・事業運営にとって、有用な提案があるか。 ●他院で行った事例で、当センターにおいても業務に活かせるものがあるか。	15	具体的かつ効果的な事例を挙げており、十分に有用な効果が期待できる。	15	
			具体的な事例を挙げており、有用な効果が期待できる。	12	
			具体的な事例を挙げており、ある程度効果が期待できる。	9	
			具体的な事例を挙げているが、あまり効果が期待できない。	6	
			具体的な事例を挙げているが、ほとんど効果が期待できない。	3	
実 績 評 価	2 組織の経験及び能力について		5		5
	◎ 受託実績 下記の条件に該当する医療機関での過去5年間における受託実績について ・病床数400床以上 ・DPC対象 ・電子カルテを導入している	●当センターと同等規模の医療機関において、どの程度の受託実績があるか。	5	過去5年間における受託実績が、40件以上である。	5
				過去5年間における受託実績が、30件以上である。	4
				過去5年間における受託実績が、20件以上である。	3
				過去5年間における受託実績が、10件以上である。	2
				過去5年間における受託実績が、40件未満である。	1
価 格 評 価	3 委託料の参考見積額		20		20
	◎ 参考見積金額（総額）	●提案限度額の範囲内であるか。 ●履行期間内における積算（総額）であるか。		全ての提案者から提示された金額のうち、最も安価である見積金額を基準として評価する。 ※評価点＝20点×（最も安価な見積金額／当該提案者の見積金額）	※
合 計			100		100